

IT・医療情報システム監査の着眼点とすすめ方

～ 医療の質と医療情報を守るために ～

日時 平成29年2月2日(木) 13:00～17:00(4H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-8615(直)

講師 有限責任監査法人トーマツ

ねもと だいすけ
根本 大介氏
ふるみち よしたか
古道 義隆氏

対象 病院・医療法人の経営層、事務長、
情報システム課、医事課などの関連部門

会場案内図



主催 一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

医療のあらゆる部門にITが浸透し、医療行為の効率化や高度化が進む一方、患者情報の漏えいやサイバー攻撃など、新たな脅威が現実のものとなってまいりました。

医療ITはいうまでもなく人命と直結しており、各病院・医療機関においては、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」にもとづき要求事項を満たすことが求められております。

本セミナーでは、実効的な病院・医療機関におけるITシステム監査の実務について、諸制度の基礎知識から実際のすすめ方まで、事例も交えてわかりやすく解説いたします。

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申し込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にてご確認ください。お振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までにお願います。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください(特記の場合を除く)。

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■参加料(テキスト・資料代含)

	参加料	消費税	合計
NOMA会員(1名)	18,000円	1,440円	19,440円
一般(1名)	20,000円	1,600円	21,600円

■お申込み・お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会
コンベンションセンター ●担当: 中川
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03)3403-8615(直)
FAX (03)5413-4327
URL <http://www.noma.or.jp>

キ リ ト リ セ ン

参加申込書		「IT・医療情報システム監査の着眼点とすすめ方」		07498	2017.2/2 13:00開講 NOMA
病院(団体)名	フリガナ	TEL	<input type="checkbox"/> 会 員 <input type="checkbox"/> 一 般 (該当にレ印をつけてください)		
所在地	〒	FAX	業 種		
参加者氏名		所属・役職		メールアドレス	
フリガナ				e-mail:	
フリガナ				e-mail:	
派遣責任者	フリガナ	所属・役職	メール アドレス	e-mail:	

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー・イベントなど本会事業のご案内 ※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—□不要
※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

第一部：監査の必要性和医療施設のセキュリティ対策

1. はじめに ～医療現場におけるITの進展とセキュリティの重要性～

- (1) 医療情報システムマーケットの現状
- (2) 変化する医療情報システムと、そのセキュリティ管理

2. 医療ITセキュリティに関する法令等の基礎知識

- (1) 関係するガイドライン等
- (2) 政府統一基準に基づくセキュリティ対策に至る経過概要
- (3) 監査に係る二つの視点 ～マネジメントシステムと情報セキュリティ対策

3. マネジメントシステム監査

- (1) マネジメントシステムとは
- (2) マネジメントシステム監査の概要
- (3) マネジメントシステムの運用

4. 情報セキュリティ対策に係る監査

- (1) ペネトレーションテスト（外部からの侵入調査）の概要
- (2) 計画作成
～攻撃シナリオ作成から報告書作成までの流れ

5. 効果的な職員研修、周知の方法

- (1) 改善ロードマップの策定
- (2) 職員研修
- (3) システムベンダーとの調整

第二部：医療情報システム監査の流れとポイント

1. 医療情報システムの監査を求める声

- (1) 電子保存の3原則は満足しているか？
- (2) リスクはどこに潜んでいるのか？
- (3) 今問題なければ問題ない？

2. 医療情報システム監査のタイミング、スケジュール

- (1) PDCAサイクルに基づく継続的な取り組み
- (2) システム導入・更新が絶好のタイミング
- (3) 多数のシステムに渡るセキュリティへの取り組み

3. 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」最新版のポイント

- (1) 3省4ガイドラインの成り立ち
- (2) 厚生労働省のガイドラインの目的
- (3) 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」第4.3版のポイント

4. 医療情報システム監査の体制づくり

- (1) システム監査はトップダウンで実施
- (2) 役割分担の明確化
- (3) 監査終了！その後の対応は？

5. 医療情報システム監査の準備

- (1) 保証型監査と助言型監査
- (2) 現場職員の協力が不可欠
- (3) 監査を効率的に進めるために

6. ケース別・トラブル対応の具体策

- (1) 個人情報の持出し管理
- (2) カルテ情報の不正閲覧を検出

7. システム管理者におけるセキュリティ強化策

- (1) 作業チェックシートの運用
- (2) 権限設定の見直し
- (3) 予期せぬエラーへの備え

8. 医師・看護師…現場におけるセキュリティ強化策

- (1) 取扱い情報の機微性の再認識
- (2) 日常的な現場セキュリティチェックの実施
- (3) 予期せぬエラーへの備え

9. 情報システム調達時、システム監査視点での仕様書の書き方

- (1) 必要な機能、不要な機能
- (2) 事故の影響範囲を極力抑える
- (3) 運用期間を見据えた仕様書にするために

※最新の動向・情報を反映するため、プログラムを一部変更させていただく場合がございます。

講師プロフィール

有限責任監査法人トーマツ **根本 大介** (ねもと・だいすけ) 氏

医療経営コンサルタント。京都大学経営管理大学院卒。シンクタンクを経て、現職。医療情報システム、医療政策、医療経営、その他コンサルティング業務に従事。各種セミナー講演等。

【著書】「月刊 新医療」連載中（HISの定理）、「ナースのための電子カルテ導入・活用ガイド」（編集）、「会計実務Q&A・医療機関」（寄稿）、「医療経営白書2007年版」（寄稿）その他多数

有限責任監査法人トーマツ **古道 義隆** (ふるみち・よしたか) 氏

ITコンサルタント。東京外国語大学卒。ITベンダーにて医療情報システムの開発・構築業務を経験した後、現職。医療情報システム導入コンサルティング業務の他、システム監査、セキュリティ規程策定業務などに従事。